取扱説明書

T20 Series

iriver www.iriver.co.jp

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるように保管してください。



Firmware Upgradable™

MP3 DIGITAL AUDIO　FM TUNER　Plays Windows Media™　REC VOICE recorder　SRS WOW DIGITAL

はじめに

iriver T20 Series をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は FM ラジオも聴けるデジタルオーディオプレーヤーです。パソコンやオーディオ機器から音楽ファイルを転送し、どこへでも音楽を持ち歩いて聴くことができます。また、録音機能によりボイスレコーダーとしてお使いになることもできます。
本書では、iriver T20 Series の取扱上のご注意をはじめ、操作方法、パソコンで CD から音楽ファイルを作成する方法などを説明しています。iriver T20 Series の機能を最大限に活用していただくために、必ず本書をお読みになり、正しくご使用ください。

ご注意

- 本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
- 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
- 記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

著作権

iriver 社は、本書に関するすべての特許権、商標権、文書権、および知的所有権を所有しています。iriver 社の承諾を得ていない場合は、本書のいかなる部分も複製することができません。違法な方法で本書を利用した場合は、罰せられることがあります。知的所有物を含むソフトウェア、オーディオ、およびビデオは著作権法および国際法によって保護されています。ユーザーが本製品によって作成されたコンテンツを複製または配布する場合、その責任はユーザー自身が負うことになります。本書中の例で使用する会社、組織、製品、個人、およびイベントは実際に存在するものではありません。iriver 社は、本書を利用して、本製品を特定の会社、組織、製品、個人、およびイベントに結び付けようとは考えておりません。また、本書の内容から何らかの別の意味を導き出そうとも考えておりません。お客様には、著作権や知的所有権を遵守していただく必要があります。

©1999-2005 iriver Limited. All rights reserved.

認証

本製品は以下の認証規格を取得しています。

CE、FCC、MIC

免責条項

お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたことによる人身事故や他の損害など、偶発的な被害が発生した場合、製造業者、輸入業者、およびディーラーは、このような損害に対して責任を負いかねます。本書の情報は現行の製品仕様に基づいています。製造業者である iriver 社は、本製品に新機能を追加しており、今後も引き続き新技術を適用して参ります。予告なく、仕様を変更することがありますので、ご了承ください。

登録商標

- iriver は、大韓民国およびその他の国における iriver Limited の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
- Windows 2000、Windows XP、および Windows Media Player は、Microsoft 社の登録商標です。
- SRS(●)® は、SRS Labs, Inc. の登録商標です。
- その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

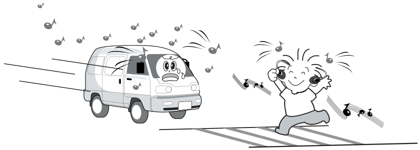
取扱上の注意

本製品の安全性については十分な注意を払っておりますが、以下の注意を守ってご使用ください。

警告　このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

注意　このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

警告　自転車、自動車などの運転中に使用しないでください。危険なばかりでなく、地域によっては違法になります。歩行中、とくに横断歩道を渡るときは、ボリュームを下げてください。



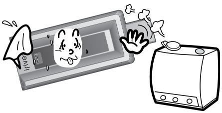
警告　ポケットにプレーヤーを入れた状態で転んだり強く衝突すると、ご自身や相手の身体に骨折や打撲などの傷害となる恐れがあります。十分に注意してください。



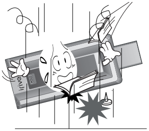
警告　大きなボリュームで使用しないでください。長時間大きなボリュームで聴き続けることは人体に有害であることが報告されています。



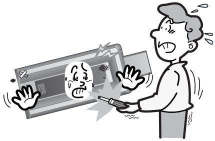
注意
湿気やほこりの多い場所、煙のかかる場所は避けてください。プレーヤーの故障の原因となります。



注意
プレーヤー内部に金属類（コインやピンなど）や燃えやすい異物を入れたり、落としたりしないでください。プレーヤーの故障の原因となります。



注意
分解や修理、改造はしないでください。プレーヤーの故障の原因となります。



注意
直射日光の当たる場所や温度が極端に高い場所や低い場所は避けてください。
プレーヤーの故障の原因となります。



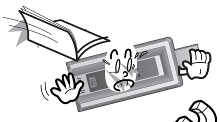
注意
2つ以上のボタンをむやみに同時に押さないでください。プレーヤーの故障の原因となります。



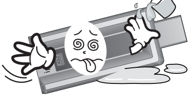
注意
お手入れの際は、水や化学薬品を使用しないでください。製品の表面をやわらかい布で拭いてください。プレーヤーの故障の原因となります。



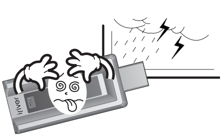
注意
プレーヤーの上にものを落とすなどで衝撃を与えたり、振動の強い場所や磁石のある場所で使用しないでください。



注意
プレーヤーに水が入ると、内部の部品が損傷することがあります。水が入った場合は、ただちに乾いた布で拭き取ってください。



注意
物理的な衝撃や落雷、停電などによりデータが壊れる可能性があります。
必ず、データのバックアップをとってください。iriver社は壊れたデータについては一切の責任を負いません。



目次

この取扱説明書の読み方

本書は次の６つのパートで構成されています。音楽を聴くためには、お使いのパソコンにソフトウェアをインストールし、音楽ファイルを作成する作業が必要です。

最初にお使いになるときは、「準備」から「音楽ファイルを再生する」（**P.14 ～ 29**）までは必ずお読みになり、順番に操作してください。

本書の構成

1 準　備
1　ソフトウェアをインストールする
2　プレーヤーをパソコンに接続する
3　CDから音楽ファイルを作成する
4　音楽ファイルをプレーヤーに転送する

2 再　生
電源のオン／オフ
音楽ファイルを再生する
・
・
・

最初に必ずお読みください

P.14～29

パソコンで音楽ファイルを作成しiriver T20 Series に転送するまでの４つのステップ、再生の基本的な操作を説明しています。

3 FMラジオ
FMラジオを聴く方法を説明しています。

4 録　音
会議などの音声録音、FMラジオの番組録音を説明しています。

5 設　定
サウンドや表示に関する各種の設定方法を説明しています。

6 資　料
困ったときの対処方法や用語解説、索引を掲載しています。

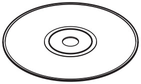
必要なときにお読みください

P.30～

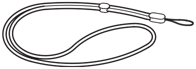
その他の機能の使い方や資料は、必要に応じてお読みください。

パッケージ内容

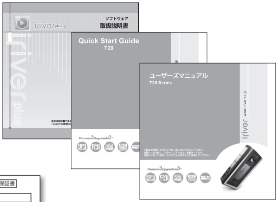
iriver T 20 Series 本体のほかに以下の付属品が含まれていることをご確認ください。



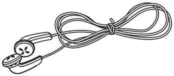
インストール CD



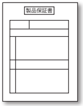
ネックストラップ



ソフトウェア取扱説明書
クイックスタートガイド
取扱説明書（本書）



イヤホン



製品保証書

◆オプション品に関するお問い合わせは

インターネット：iriver e ストア〈www.iriver.co.jp/estore〉
店頭：アイリバー・プラザ各店〈店舗情報は www.iriver.co.jp をご覧ください。〉
お電話：アイリバー・ジャパン サポートセンター　→ **P.66**

オーディオケーブルや各種アクセサリ（液晶保護シート、イヤホン、ストラップ等）を取り扱っています。

各部のなまえ

モード／録音ボタン

録音の開始／停止をします。また、長押しすると、モード切り替えができます。ブラウザ、音楽再生、FM ラジオ、録音、設定の 5 つのモードがあります。本書の文中では **M** と表現します。

ボリュームボタン

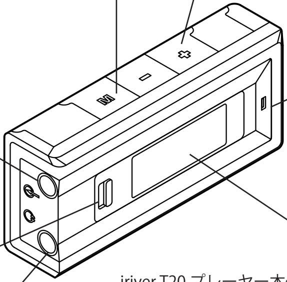
ボリュームを大きくするときは+、小さくするときはーを押します。
本書の文中では **＋**／ **ー**と表現します。

内蔵マイク

録音用のマイクが内蔵されています。

Line-in 端子

オーディオケーブルを接続します。外部オーディオ機器から音楽 CD を直接録音する場合に使用します。



画面

再生する曲のタイトルや設定項目のメニューなどが表示されます。

HOLD スイッチ

ボタン操作を一時無効にします。HOLD 状態では、画面にカギのアイコンが表示されます。

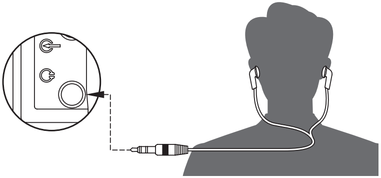
iriver T20 プレーヤー本体
〈前面〉

イヤホン端子

イヤホンを接続します。

イヤホンの使い方

イヤホン端子に差し込み、R を右の耳に、L を左の耳にセットします。



前へ／巻戻しボタン

再生中に押すと、前の曲が再生されます。
長押しすると、巻戻しされます。
本書の文中では |◀◀ と表現します。

次へ／早送りボタン

再生中に押すと、次の曲が再生されます。
長押しすると、早送りされます。
本書の文中では ▶▶| と表現します。

電源／再生／停止ボタン

電源オン、音楽の再生／停止をします。
長押しすると、電源オフになります。
本書の文中では ▶/■ と表現します。

USB 端子

パソコンの USB 端子に接続する端子

リセットボタン

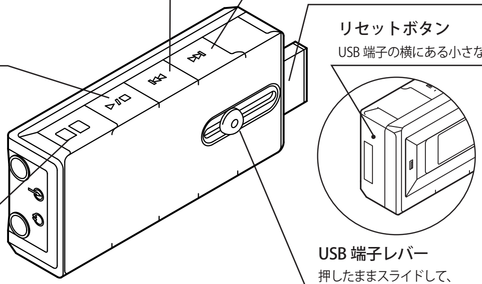
USB 端子の横にある小さな穴

ネックストラップ取り付け穴

ネックストラップのひもを通して
取り付けます。

USB 端子レバー

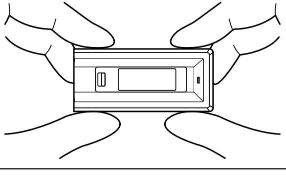
押したままスライドして、
USB 端子を出し入れします。



iriver T20 プレーヤー本体
〈背面〉

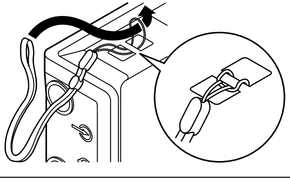
プレーヤーの正しい持ち方

画面を手前に向けて両端を持ち、親指と人差し指でボタン操作をします。



ネックストラップの取り付け

図のようにひもを通し、首にかけてご使用になれます。



iriver T20 Series でできること

iriver T20 Series は、FM ラジオも聴けるデジタルオーディオプレーヤーです。パソコンやオーディオ機器から音楽ファイルを転送し、どこへでも音楽を持ち歩いて聴くことができます。また、録音機能によりボイスレコーダーとしてお使いになることもできます。ここでは主な機能と参照ページを案内します。

音楽ファイルの再生

MP3, WMA, OGG, ASF 形式の音楽ファイルを再生できます。最初に専用ソフトウェア iriver plus 2 を使って、パソコンで音楽 CD の曲を音楽ファイルに変換し、パソコンから iriver T20 Series 本体（以下、プレーヤー）へ音楽ファイルを転送します。再生するときは、リピート（繰り返し）、シャッフル（ランダムな順序）など、再生モードを変えて楽しむことができます。

準備 ☛ **P.14**
音楽ファイルを再生する ☛ **P.27**

FM ラジオ

FM ラジオを聴くことができます。

FM ラジオを聴く ☛ **P.37**

音声録音、FM ラジオからの録音

会議などの音声録音、FM ラジオからの録音ができます。

録音 ☛ **P.42**

外部オーディオ機器からの録音

パソコンを使わずに、CD ラジカセやコンポなどのオーディオ機器とプレーヤーを接続して、音楽を録音することができます。

外部オーディオ機器から録音する ☛ **P.44**

ファイル・フォルダ管理

パソコンでリムーバブルディスクとして認識され、専用ソフトウェアを使わなくても音楽を転送できます。フォルダ数 500、ファイル数 1000、最大 8 階層のフォルダに対応しており、保存した音楽はプレーヤーでツリー構造に表示して簡単に検索できます。もちろん、USB メモリのように音楽以外のデータを持ち歩くにも便利です。

準備 ☛ **P.23**

サウンドを好みに合わせて設定できる

10 種類のプリセット EQ（イコライザ）と、ユーザーが調節できる 2 種類の EQ からお好みに合うサウンドを選択できます。イコライザとは、低音／中音／高音の領域ごとに強弱を調節して、それぞれの楽曲に適した音のバランスを設定するしくみをいいます。

サウンドを好みに合わせて設定する ☛ **P.33**

1 準備

最初にお使いになるときに必要な準備について説明していますので、**P.14 ～ 24** は手順どおりに操作してください。

1 ソフトウェアをインストールする

専用ソフトウェア iriver plus 2 をパソコンにインストールします。

iriver plus 2 の動作条件は次の通りです。なお、インターネット接続環境が必要です。
OS：Windows 2000 / XP　CPU：Pentium 300MHz 以上
RAM：128MB 以上　モニタ：SVGA、800 X 600 ドット以上
Microsoft Internet Explorer 6 以上

1 パソコンの CD-ROM ドライブに付属のインストール CD をセットします。

インストール画面が表示されます。

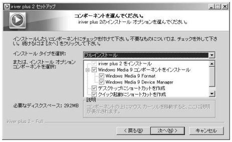


インストール画面が表示されない場合は、［スタート］ー［マイコンピュータ］を選択し、CD-ROM ドライブの「iriver2_setup_full.exe」をダブルクリックしてください。

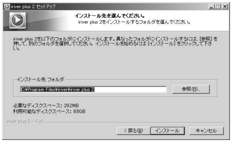


2 画面のメッセージにしたがって手順を進めます。

- 「ライセンス契約書」は内容をよくお読みになり、［同意する］をクリックしてください。
- コンポーネントの選択画面では、はじめてインストールする際は［フルインストール］を選択してください。
- インストール先を選択できます。とくに変更する必要はありません。
- インストールオプションの選択では、iriver plus 2 に関連付けるファイルの種類を選択できます。とくに変更する必要はありません。ここで選択したファイルをダブルクリックすると、iriver plus 2 が起動するようになります。



コンポーネントの選択画面



インストール先の選択画面

3 インストールの完了画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

デスクトップに iriver plus 2 のアイコンが表示されます。



インストールの完了画面

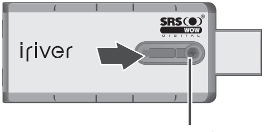
これで、音楽ファイルを管理するための専用ソフトウェア iriver plus 2 がインストールできました。続いてプレーヤーをパソコンに接続します。

1
準
備

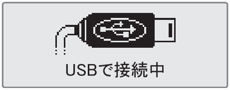
2 プレーヤーをパソコンに接続する

〈注意〉• 必ずプレーヤーの再生が停止している状態で接続してください。
• お使いのパソコンによっては、USB ケーブル（別売）が必要になる場合があります。

USB 端子レバーを押したままスライドして、USB 端子を押し出します。USB 端子の先端のゴムキャップを外し、正しい向きで、パソコンの USB ポート（USB マーク）に差し込みます。



プレーヤーの電源が入り、画面に「USB で接続中」と表示されます。



Windows では、［スタート］－［マイコンピュータ］をクリックすると、リムーバブルディスク（T20）として接続されていることがわかります。

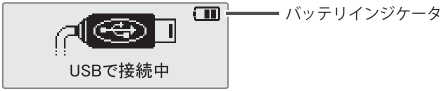


これでパソコンとプレーヤーが接続されました。続いて、音楽ファイルを作成します。
プレーヤーを接続したまま、**P.18** へ進みます。

〈注意〉操作の終了後にプレーヤーを取り外すときには、必ず iriver plus 2 でプレーヤーの切断の操作を行ってから取り外してください。プレーヤーを取り外すときの注意　→ **P.24**

バッテリの充電について

iriver T20 Series はパソコンの USB ポートに接続すると、自動的に充電が行われます。
充電中は画面のバッテリインジケータが点滅します。



プレーヤーの電源を切った状態でも充電されます。
充電所要時間は約 2 時間（完全放電、再生停止の状態での標準時間）です。

3 CD から音楽ファイルを作成する

音楽 CD をパソコンにセットして、iriver plus 2 で音楽ファイルを作成します。

- 安定した品質で録音するために、音楽の再生を停止して録音することをおすすめします。
- ここでは、iriver plus 2 のインストール、パソコンとプレーヤーの接続が完了していることを前提として説明します。これらのステップが完了していない場合は、**P.14**「準備」から順に操作を進めてください。

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックして、iriver plus 2 を起動すると、2 つのウィンドウが開きます。



プレーヤーウィンドウ
パソコンで音楽を再生する

メディアライブラリウィンドウ
音楽ファイルのライブラリを管理する

◆ iriver plus 2 の自動起動について

Windows を起動したときに iriver plus 2 が自動的に起動するように設定されています。自動的な起動を止めたいときは、[オプション] ー [設定] ー [全般] を選択して、[Windows の起動時に自動的に起動する] のチェックを外してください。

2 音楽 CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

しばらくして、CD の音楽情報がメディアライブラリに表示されます。
CD の音楽情報が自動的に表示されない場合は、CD のアイコンを右クリックして、「Gracenote から CD の情報を取得」を選択します。

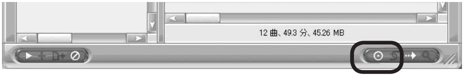


3 録音する曲をチェックします。



4［CD から録音］ボタンをクリックして録音を開始します。

録音中は一曲ずつ録音経過状態が表示されます。



［CD から録音］ボタン

- 録音された音楽は、ライブラリの［すべての音楽］に表示されます。曲のタイトルをダブルクリックすると、パソコンで音楽を再生できます。
- 録音された音楽は、WMA 形式のファイルとしてパソコンの「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」フォルダに保存されます。

これで音楽ファイルの作成ができました。最後に iriver plus 2 で音楽ファイルをプレーヤーへ転送します。次ページへ進みます。

4 音楽ファイルをプレーヤーに転送する

iriver plus 2 でパソコンからプレーヤーへ音楽ファイルを転送します。

ここでは、iriver plus 2 のインストール、パソコンとプレーヤーの接続、音楽ファイルの作成が完了していることを前提として説明します。これらのステップが完了していない場合は、**P.14**「準備」から順に操作を進めてください。

〈注意〉・プレーヤーの空き容量が不足していると、転送が中断されます。
・パス名＋ファイル名が半角で 511 文字を超えるファイルは転送できません。

1 プレーヤー（T20）を選択した状態で［新しいプレイリスト／新規フォルダ］ボタンをクリックし、新規フォルダを作成します。

プレーヤー（T20）を右クリックして［新規フォルダ］を選択することもできます。



［新しいプレイリスト／新規フォルダ］



フォルダ名を入力すると、プレーヤー（T20）の下層に新規フォルダができます。

2 新規フォルダを選択した状態で、曲のタイトルをプレーヤー側にドラッグ＆ドロップします。

複数の曲を選択するときは、Ctrl キーを押したまま曲をクリックします。



音楽ファイルの転送がはじまり、数分して転送が完了します。

- フォルダの下層に新しいフォルダを作成することにより、フォルダを階層化できます。フォルダ数 500、ファイル数 1000、最大８階層のフォルダに対応しており、プレーヤーでツリー構造に表示することができます。
- プレーヤーには「VOICE」「RECORD」フォルダがあります。これは、音声録音や FM ラジオの録音などで生成された音声ファイルを保存するために用意されているものなので、音楽ファイルは、それ以外の場所にドラッグ＆ドロップすることをおすすめします。

リムーバブルディスクとしてデータを転送する

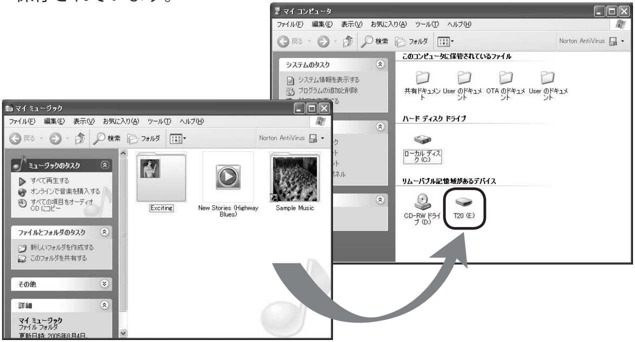
iriver T20 Series はパソコンでリムーバブルディスクとして認識され、専用ソフトウェア iriver plus 2 を使わなくても、音楽やその他のデータを転送できます。

1 **Windows の［スタート］ー［マイコンピュータ］をクリックします。**

リムーバブルディスク（T20）としてプレーヤーが表示されています。

2 **転送したいファイルまたはフォルダを選択し、T20 のフォルダにドラッグ& ドロップします。**

- CD から録音した音楽ファイルは、Windows の［マイ　ミュージック］フォルダに保存されています。



プレーヤーを取り外すときの注意

操作の終了後にプレーヤーを取り外すときは、必ず以下の手順で、パソコンとプレーヤーを切断してから取り外してください。

1 iriver plus 2 の［ファイル］ー［ポータブルデバイスの切断］を選択します。

メディアライブラリのプレーヤー側の表示が消え、取り外し可能な状態になります。

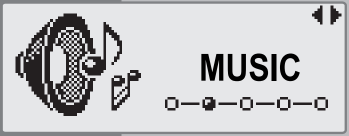
2 プレーヤーをパソコンから抜きます。

3 USB 端子レバーをスライドして、USB 端子を収納します。

電源を切るときは、▶/■ を長押しします。

以上で音楽を聴くための準備が完了しました。プレーヤーをパソコンから取り外して、イヤホンを接続してください。

2 再生



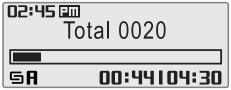
電源のオン／オフ

電源の入れ方、切り方、自動電源オフの設定について説明します。

1 ▶/■ を押すと、電源が入ります。

iriver の起動画面が表示された後、直前に使用していたモードの画面が表示されます。
はじめてお使いのときは、音楽の再生画面が表示されます。
〈注意〉HOLD スイッチがオンになっていると、ボタン操作ができません。オフであることを確認してください。 HOLD スイッチ → **P.10**





2 ▶/■ を長押しすると、電源が切れます。

終了画面が表示された後、画面が消えます。



電源オフタイマーの設定

バッテリの消耗を防ぐため、一定時間が経過すると、自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、設定メニュー［タイマー設定］の［電源オフタイマー］または［スリープタイマー］を設定することにより変更できます。 設定 → **P.58**

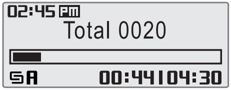
- ［電源オフタイマー］は、プレーヤーが停止状態のまま一定時間が経過すると、電源が切れるタイマーです。
- ［スリープタイマー］は、電源を入れてから一定時間が経過すると、電源が切れるタイマーです。

音楽ファイルを再生する

プレーヤーにイヤホンを接続して、音楽を聴きます。

- あらかじめプレーヤーに音楽ファイルを転送しておく必要があります。「準備」（**P.14 ～ 24**）をお読みください。
- イヤホンはイヤホン端子（ ）に差し込みます。

1 電源が入っていない場合は、▶/■ を押して電源を入れます。



直前に使用していたモードの画面が表示されます。

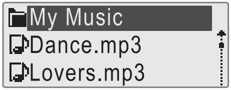
〈注意〉HOLD スイッチがオンになっていると、ボタン操作ができません。

オフであることを確認してください。

▶/■ を押すと、直前に聴いていた曲から連続再生されます。初めてお使いになる場合や、バッテリを充電した後は 1 曲めから再生されます。再生する曲を探すときや、音楽以外のモード画面が表示されたときは、次の手順に進みます。

2 ［BROWSER］モードに切り替えます。





M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭ を押して［BROWSER］モードに切り替え、▶/■ で決定します。

プレーヤーに保存されているフォルダとファイルが一覧表示されます。

3 再生する曲をボタン操作で探します。



◆ BROWSER モードの基本操作

曲を選択する

⏮：上に移動

⏭：下に移動

フォルダを移動する

M　：上の階層に移動、元の画面に戻る

▶/■　：下の階層に移動



4 ▶/■ を押すと、指定した曲が再生されます。

再生を停止するときは、再び ▶/■ を押します。

◆再生中の基本操作

ボリュームを調節する

＋：ボリュームを上げる

－：ボリュームを下げる

前の曲／次の曲を再生する

⏮：前の曲を再生

⏭：次の曲を再生

早送り／巻戻しする

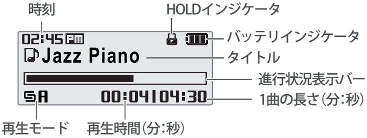
⏮を長押し：巻戻し

⏭を長押し：早送り

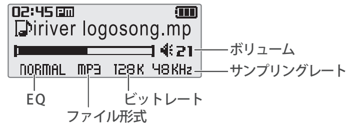
再生画面の見方

再生中の画面表示は以下のようになっています。

タイトルが長い場合はスクロール表示されます。スクロールの方向と速度は、設定を変えることができます。 スクロール速度 → **P.54**

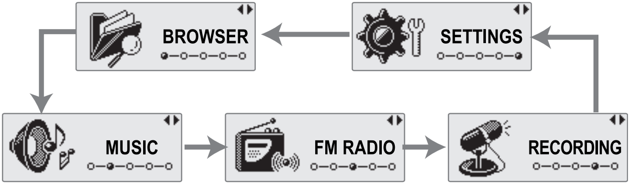


〈ボリューム調節中の表示〉



モード切り替えについて

M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または⏭で［BROWSER］［MUSIC］［FM RADIO］［RECORDING］［SETTINGS］の５つのモードが切り替わります。



再生モードを設定する〈リピート／シャッフル〉

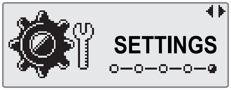
通常はプレーヤーに保存された全曲を登録した順番で再生しますが、特定の曲だけを繰り返したり、ランダムな順番で再生することができます。

電源が入っていない場合は▶/■ を押して電源を入れます。

1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭ で［SETTINGS］に切り替えて、▶/■ で決定します。

設定のメニュー画面が表示されます。



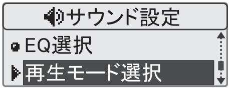


2 ⏮ または ⏭ で［サウンド設定］を選択して、▶/■ で決定します。

サウンド設定のメニュー画面が表示されます。



3 **⏮または⏭で［再生モード選択］を選択して、▶/■で決定します。**



再生モード選択画面が表示されます。

4 **⏮または⏭で再生モードを選択して、▶/■で決定します。**



選択した再生モードが適用されます。

再生モードの種類

再生モードの種類は以下のとおりです。

通常再生	A	すべての曲が再生される
	D	フォルダ内の曲が再生される
リピート	↻1	1曲が繰り返し再生される
	↻A	すべての曲が繰り返し再生される
	⇄D	フォルダ内の曲が繰り返し再生される
シャッフル	S A	すべての曲がランダムな順番で再生される
	S D	フォルダ内の曲がランダムな順番で再生される
シャッフルリピート	S↻A	すべての曲がランダムな順番で繰り返し再生される
	S↻D	フォルダ内の曲がランダムな順番で繰り返し再生される

2
再生

A から B までを繰り返し再生する〈A-B 区間リピート〉

再生中に開始位置 (A) と終わりの位置 (B) を指定することにより、A-B の間だけを繰り返し再生することができます。

電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。

1 音楽の再生中に M を押します。



リピートする区間の開始点 (A) が指定され、画面に A のアイコンが表示されます。

2 再度、音楽の再生中に M を押します。



リピートする区間の終了点 (B) が指定され、画面に A-B のアイコンが表示されます。
A-B 区間の再生が繰り返し再生されます。

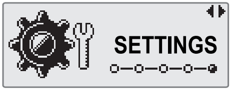
リピートを解除するときは、M を押します。

サウンドを好みに合わせて設定する〈EQ 選択〉

EQ（イコライザ）とは、低音／中音／高音の領域ごとに強弱を調節して、それぞれの楽曲に適した音のバランスを設定するしくみをいいます。通常は［NORMAL］に設定されています。

電源が入っていない場合は▶/■を押して電源を入れます。

1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭で［SETTINGS］に切り替えて、▶/■ で決定します。



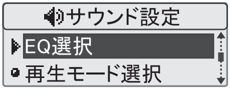
設定のメニュー画面が表示されます。

2 ⏮ または ⏭で［サウンド設定］を選択して、▶/■ で決定します。



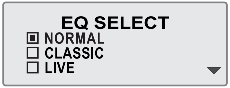
サウンド設定のニュー画面が表示されます。

3 ⏮ または ⏭で［EQ 選択］を選択して、▶/■ で決定します。



再生モード選択画面が表示されます。

4 **⏮ または ⏭ で EQ を選択してサウンドを試聴し、▶/■ で決定します。**



再度、設定を変更するまで選択した EQ が適用されます。

EQ の種類と特長

EQ（イコライザ）は 12 種類あり、以下のような特長があります。

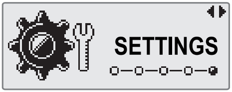
名称	特長
NORMAL	標準
CLASSIC	クラシック音楽に特化
LIVE	ライブ音源に最適
POP	重低音が若干強調されリズミカルな感じ
ROCK	ロック向けにボーカルが強調される
JAZZ	ピアノの音がきれいで透き通った感じ
U BASS	バスが強調され重低音が楽しめる
METAL	歪みが目立つ感じ
DANCE	音が若干濁り重低音が目立つ
PARTY	パーティー会場にいるような感じ
SRS	3D サウンドモード
USER EQ	ユーザによる設定

ファイルを削除する（ファームウェア 1.20 以前）

プレーヤーに保存されたファイルを削除する方法を説明します。

- 電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。
- 再生している場合は、▶/■ を押して停止します。
- お使いのファームウェアのバージョンを確認するには（**P.61** をご覧ください）

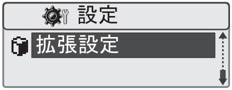
1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮または⏭で［SETTINGS］に切り替えて、▶/■ で決定します。



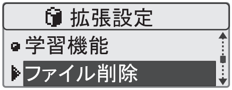
設定のメニュー画面が表示されます。

2 ⏮ または ⏭ で［拡張設定］を選択して、▶/■ で決定します。

拡張設定のメニュー画面が表示されます。



3 ⏮ または ⏭ で［ファイル削除］を選択して、▶/■ で決定します。



⏮ ：上にカーソル移動
⏭ ：下にカーソル移動
M ：上の階層に移動、元の画面に戻る
▶/■ ：下の階層に移動



4 ⏮または ⏭で削除する曲を探して、▶/■ で決定します。

確認画面が表示されます。



5 ⏮ または ⏭ で［YES］を選択して、▶/■ で決定します。

選択したファイルが削除されます。

ファイルを削除する（ファームウェア 1.50）

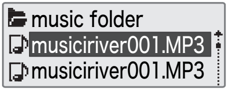
プレーヤーに保存されたファイルを削除する方法を説明します。

- 電源が入っていない場合は **▶/■** を押して電源を入れます。
- 再生している場合は、**▶/■** を押して停止します。
- お使いのファームウェアのバージョンを確認するには（**P.61** をご覧ください）

1 **M** を長押しすると、モード選択の状態になります。**⏮**または**⏭**で［BROWSER］に切り替えて、**▶/■** で決定します。



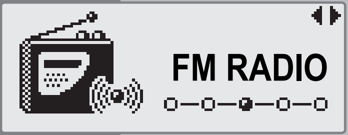
2 削除したいファイルを**⏮** または **⏭** で探して、**−** を押します。



3 **⏮** または **⏭** で［YES］を選択して、**▶/■** で決定します。



3 FMラジオ



FMラジオを聴く

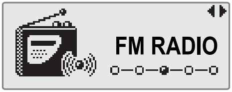
周波数を合わせて FM ラジオ放送を聴きます。

ラジオ局の周波数は地域によって異なるため、あらかじめ聴きたい周波数を登録しておくと便利です。（ラジオ局を登録する → **P.39**）また､ラジオ局の周波数がわからない場合も、オートスキャン（自動選局）機能により、受信可能な周波数を見つけることができます。

〈注意〉電波の弱い地域では、一部の放送が受信できなかったり、受信状態が悪い場合があります。

電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。

1 **M を長押しすると、モード選択の状態になります。** ⏮ または ⏭ で［FM RADIO］に切り替えて、▶/■ で決定します。



画面に［PRESET］と表示されている場合は、▶/■を押して［PRESET］の表示を消してください。

2 ⏮または⏭で周波数を変更します。

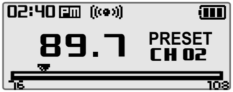
⏮ または ⏭ を長押しすると、受信できる周波数に自動で移動します。



オートスキャンが有効な状態

◆ 登録したラジオ局を選ぶには

まず、ラジオ局を登録します。→ **P.39**
▶/■ を押して画面に［PRESET］を表示します。
⏮ または ⏭ を押して、登録したラジオ局のチャンネルを選びます。



［PRESET］と表示されている場合

ステレオ／モノラルを切り替えるには

1 FM ラジオの受信中に M を押すと、設定メニューが表示されます。



2 ⏮または⏭で［STEREO ON］または［STEREO OFF］を選択して、▶/■ を押します。

ステレオとモノラルが交互に切り替わります。



ラジオ局を登録する

ラジオ局の周波数は地域によって異なるため、あらかじめ聴きたい周波数を登録しておくと便利です。

自動で登録する

・電源が入っていない場合は▶/■を押して電源を入れます。
・FM ラジオのモードに切り替えます。　FM ラジオを聴く　→ **P.37**

1 **M を押すと、設定メニューが表示されます。**

2 **⏮または⏭で［AUTO SAVE］を選択して、▶/■ で決定します。**



自動的に周波数のスキャンがはじまり、受信可能な周波数が見つかると順次登録されます。

M を押すと、元の画面に戻ります。



登録件数は最大 20 件です。

手動で登録する

- 電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。
- FM ラジオのモードに切り替えます。　FM ラジオを聴く　→ **P.37**
- ▶/■ を押して［PRESET］の表示が消えた状態にします。

1 ⏮ または ⏭ を長押しします。

周波数を連続的にスキャンし、受信可能な周波数で停止します。

スキャンを繰り返して、登録したいラジオ局に周波数を合わせます。

2 M を押すと、設定メニューが表示されます。

3 ⏮ または ⏭ で［SAVE CHANNEL］を選択して、▶/■ で決定します。



登録画面が表示されます。■は使用中、□は空いているチャネルを表しています。



4 ⏮ または ⏭ で空きチャネルのいずれかを選択して、▶/■ を押すと、周波数が登録されます。

M を押すと、元の画面に戻ります。
登録件数は最大 20 件です。

登録を削除する

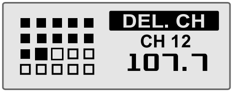
- 電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。
- FM ラジオのモードに切り替えます。 FM ラジオを聴く → **P.37**
- ▶/■ を押して［PRESET］が表示されている状態にします。

1 M を押すと、設定メニューが表示されます。

2 ⏮ または ⏭ で［DELETE CHANNEL］を選択して、▶/■ で決定します。



登録画面が表示されます。■は使用中、□は空いているチャネルを表しています。



3 ⏮ または ⏭ で削除したいチャネルに合わせて ▶/■ を押すと、登録が削除されます。

M を押すと、元の画面に戻ります。

すべての登録を削除すると、［EMPTY］と表示されます。

4 録音



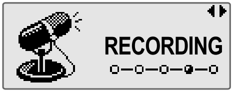
内蔵マイクで音声を録音する

プレーヤーの内蔵マイクで会議などの音声を録音します。

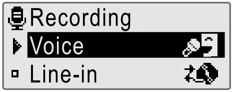
〈注意〉電源やメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。最大録音時間は、低音質（32Kbps）で 18 時間（メモリ 256MB の場合）です。

電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。

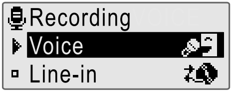
1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭で［RECORDING］に切り替えて、▶/■ で決定します。



録音の設定メニューが表示されます。

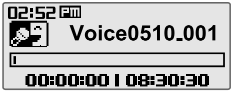


2 ⏮または⏭で［Voice］を選択して、▶/■ で決定します。



録音スタンバイ画面が表示されます。

3 M を押すと、音声録音が開始されます。



録音中に一時停止するとき、録音を再開するときは、▶/■ を押します。

4 録音を終了して音声ファイルを保存するときは、再度、M を押します。



- 録音した音声ファイルは VOICE フォルダに保存されます。
  ファイル名は、VOICEMMDDXXX.MP3（MM：月、DD：日、XXX：保存番号）という形式になっています。
- 音声ファイルを再生するときは、［BROWSER］モードでファイルを選択して、▶/■ を押します。
- ［音声録音設定］により、録音品質を〈高音質／標準／低音質〉の 3 段階に設定することができます。音声録音設定　→ **P.56**
- 音声自動認識の設定をすると、無音のときは録音が自動的に一時停止します。音声自動認識　→ **P.56**

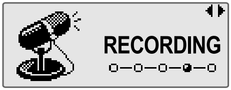
外部オーディオ機器から録音する

CD ラジカセやコンポなどのオーディオ機器とプレーヤーを接続して、パソコンを使わずに音楽を取り込みます。

〈注意〉バッテリやメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。

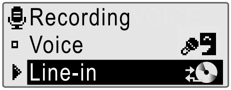
- 電源が入っていない場合は▶/■ を押して電源を入れます。
- オーディオ機器に音楽 CD をセットします。オーディオケーブル※を使い、プレーヤーの Line-in 端子（ⓘ）とオーディオ機器の Line-out 端子を接続しておきます。

1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭ で［RECORDING］に切り替えて、▶/■ で決定します。



録音の設定メニューが表示されます。

2 ⏮ または ⏭ で［Line-in］を選択して、▶/■ で決定します。



録音スタンバイ画面が表示されます。

※オーディオケーブルは別途ご用意ください。また、ラインインケーブルは**「抵抗なし」**のタイプをご使用ください。

3 Mを押すと、Line-in 録音が開始されます。

録音中に一時停止するとき、録音を再開するときは、▶/■ を押します。



4 録音を終了して音楽ファイルを保存するときは、再度、Mを押します。

CD の全曲が 1 つの音楽ファイルとして保存されます。



- 録音した音声ファイルは RECORD フォルダに保存されます。
- ファイル名は、AUDIOMMDDXXX.MP3（MM：月、DD：日、XXX：保存番号）という形式になっています。
- 音声ファイルを再生するときは、［BROWSER］モードでファイルを選択して、▶/■ を押します。
- ［ライン入力設定］により、録音品質を〈高音質／標準／低音質〉の 3 段階に設定することができます。　ライン入力設定　→ **P.56**
- ［ライン入力ボリューム］の設定により、録音のボリュームを 0 〜 31 のレベルで調節できます。　ライン入力ボリューム　→ **P.57**
- ［曲間自動分割］の設定により、無音状態を曲の区切りととらえて、曲単位にファイルを分割して録音できます。　曲間自動分割　→ **P.57**

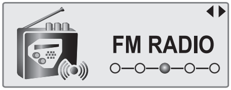
FMラジオを録音する

FMラジオの放送を録音します。

〈注意〉バッテリやメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。

電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。

1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭で［FM RADIO］に切り替えて、▶/■ で決定します。



直前に合わせていた周波数の放送が聴こえます。

録音したい周波数に合わせます。

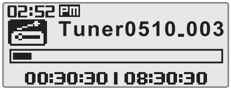


FMラジオを聴く　→ **P.37**

2 FM ラジオの受信中に M を押すと、設定メニューが表示されます。

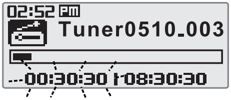


3 ⏮または⏭で［RECORDING］を選択して、▶/■ で決定します。



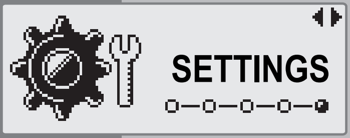
録音が開始されます。録音中に一時停止するとき、録音を再開するときは、▶/■ を押します。

4 録音を終了して音声ファイルを保存するときは、Mを押します。



- 録音した音声ファイルは TUNER フォルダに保存されます。
  ファイル名は、TUNERMMDDXXX.MP3（MM：月、DD：日、XXX：保存番号）という形式になっています。
- 音声ファイルを再生するときは、［BROWSER］モードでファイルを選択して、▶/■を押します。
- ［FM 録音設定］により、録音品質を〈高音質／標準／低音質〉の 3 段階に設定することができます。　FM 録音設定　→ **P.56**
- 録音中はボリュームの調節はできません。

5 設定



利用スタイルやお好みに合わせて、各種の設定を変更できます。

〈注意〉設定メニューは、ファームウェア（プレーヤーの基本ソフト）のバージョンによって異なる場合があります。最新バージョンにアップグレードしてお使いになることをおすすめします。　ファームウェアをアップグレードする　→ **P.62**

設定メニューは次のページのとおり２階層で構成されています。

設定メニューは下図のように２階層で構成されています。

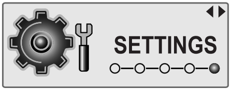
- **サウンド設定**
  - SRS設定
  - カスタムEQ
  - EQ選択
  - 再生モード選択
  - 録音ファイル再生モード
- **表示設定**
  - バックライト時間
  - スクロール速度
  - タグ情報表示
  - 言語設定
  - 名前設定
  - 画面コントラスト
- **録音設定**
  - FM録音設定
  - 音声録音設定
  - 音声自動認識
  - ライン入力設定
  - ライン入力ボリューム
  - 曲間自動分割
- **タイマー設定**
  - 電源オフタイマー
  - スリープタイマー
  - 日付と時刻
  - アラーム/FM録音
  - アラーム時刻設定
  - FMタイマー録音
- **拡張設定**
  - レジューム
  - システム情報
  - 早送り/巻戻し速度
  - 再生速度
  - 学習機能
  - ファイル削除
  - 初期設定に戻す
  - フォーマット

設定の基本操作

設定の操作は各項目とも基本的に共通です。ここでは［カスタム EQ］を例に説明しますので、参照して必要な設定をしてください。

電源が入っていない場合は▶/■ を押して電源を入れます。

1 設定モードに切り替える



M を長押しすると、モード選択の状態になります。

⏮ または ⏭で［SETTINGS］に切り替えて、▶/■ で決定します。

設定のメインメニュー画面が表示されます。

2 メインメニューを選択する



⏮または⏭でメインメニューのいずれかを選択して、▶/■ で決定します。

ここでは［サウンド設定］を選択します。サブメニューが表示されます。

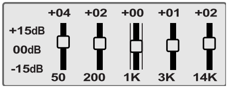
3 サブメニューを選択する



⏮ または ⏭ でサブメニューのいずれかを選択して、▶/■ で決定します。

ここでは［カスタム EQ］を選択します。設定画面が表示されます。

4 設定する



ボタンを使って設定します。

⏮：設定値を下に変更、項目間を移動

⏭：設定値を上に変更、項目間を移動

▶/■ ：設定値や選択対象を決定

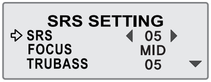
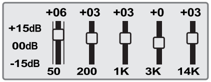
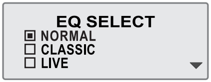
ここでは、５つの周波数帯を表すバーを左から順に設定していきます。⏮または⏭で設定値を上下に変更して、▶/■ で決定します。決定すると、つぎのバーに移動するので、以下同様に設定します。

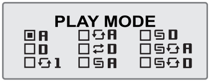
5 設定を終了する

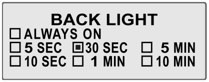
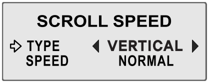
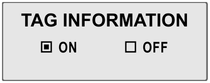
M を押すと、１つ前の画面に戻ります。 **M** を繰り返し押すことによって、設定モードを終了します。

設定一覧

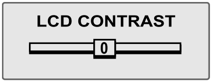
各設定メニュー項目の機能と設定値の意味を解説します。

項　目	解　説
サウンド設定	
SRS 設定 	SRSは立体的な音響効果の技術。4 タイプの立体効果のレベル設定ができる。 SRS:仮想 3 次元音響効果 FOCUS:サウンドの鮮明度 TRUBASS:低音強調の値 BOOST:サウンドのブースト(増幅)値
カスタム EQ 	周波数帯ごとにレベル調整して独自の音響効果を設定する。 周波数レベル -15dB ～ +15dB
EQ 選択 	低音／中音／高音の領域ごとに強弱を調節して、それぞれ楽曲に適した音のバランスを設定したイコライザを12タイプから選択する。 NORMAL：標準　　CLASSIC：クラシック音楽に特化 LIVE：ライブ音源に最適　POP：重低音が若干強調されリズミカルな感じ ROCK：ロック向けにボーカルが強調される JAZZ：ピアノの音がきれいで透き通った感じ U BASS：バスが強調され重低音が楽しめる METAL：歪みが目立つ感じ　　DANCE：音が若干濁り重低音が目立つ PARTY：パーティー会場にいるような感じ SRS：3D サウンドモード　USER EQ：ユーザによる設定

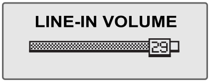
<table>
<tr><td>項　目</td><td colspan="3">解　説</td></tr>
<tr><td rowspan="10">再生モード選択
</td><td colspan="3">音楽ファイルの再生方法を設定する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">通常再生</td><td>A</td><td>すべての曲が再生される</td></tr>
<tr><td>D</td><td>フォルダ内の曲が再生される</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リピート</td><td>↻1</td><td>1曲が繰り返し再生される</td></tr>
<tr><td>↻A</td><td>すべての曲が繰り返し再生される</td></tr>
<tr><td>⇄D</td><td>フォルダ内の曲が繰り返し再生される</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シャッフル</td><td>S A</td><td>すべての曲がランダムな順番で再生される</td></tr>
<tr><td>S D</td><td>フォルダ内の曲がランダムな順番で再生される</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シャッフル
リピート</td><td>S↻A</td><td>すべての曲がランダムな順番で繰り返し再生される</td></tr>
<tr><td>S↻D</td><td>フォルダ内の曲がランダムな順番で繰り返し再生される</td></tr>
<tr><td>録音ファイル
再生モード
</td><td colspan="3">内蔵マイクやライン入力した録音ファイルの再生方法を設定する。
D　：フォルダ内のすべてのファイルが再生される
↻1　：１つのファイルが繰り返し再生される
⇄D　：フォルダ内のすべてのファイルが繰り返し再生される</td></tr>
</table>

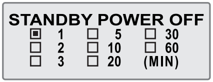
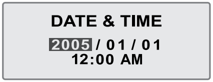
項　目	解　説
表示設定	
バックライト時間 	画面のバックライトの点灯継続時間を設定する。 時間を短く設定することにより、バッテリを節約できる。 5 秒/10 秒/30 秒/1 分/5 分/10分/常時点灯
スクロール速度 	文字情報（曲名、アーティスト名）のスクロールタイプとスクロール速度を調節する。 スクロールタイプ 　SCROLL（文字が流れる） 　VERTICAL（垂直） 　HORIZONTAL（水平） 速度：SLOW（低速）/NORMAL（通常）/FAST（高速）
タグ情報表示 	タグ情報を利用して音楽ファイルの情報を表示する。 ON ：表示する OFF：表示しない（ファイル名が表示される） タグ情報がない曲の場合、設定にかかわらずファイル名が表示される。

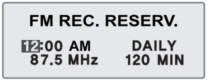
5
設定

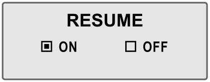
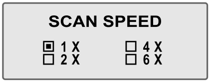
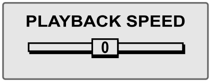
項　目	解　説
言語設定 	設定メニューの表示言語を 40 種類から選択する。 初期設定は JAPANESE 、アルファベット順に国名が表示される。
名前設定 	プレーヤーの電源を入れたときの画面に、設定した文字が表示される。 ⏮ または ⏭ で文字を選択して、▶/■ で決定。 ＋／－ で入力位置を左右に移動、入力した文字を削除するときは － を長押しする。 文字種（カナ／英数字／記号）を切り替えるときは ＋ を長押しする。スペースは数字の「9」と「!」のあいだのスペース記号で入力。
画面コントラスト 	画面のコントラスト（明暗の差）を調節する。 -10 ～ +10 の範囲

項　目	解　説
録音設定	
FM 録音設定 **FM SETTING** □ HIGH ■ MIDDLE □ LOW	FM 録音の音質を設定する。 HIGH：高音質（256Kbps） MIDDLE：標準（128Kbps） LOW：低音質（64Kbps）
音声録音設定 **VOICE SETTING** □ HIGH ■ MIDDLE □ LOW	音声録音の音質を設定する。 HIGH：高音質（128Kbps） MIDDLE：標準（64Kbps） LOW：低音質（32Kbps）
音声自動認識 **VOICE DETECT** ⇨ LEVEL ◀OFF▶ TIME (SEC) OFF	無音のときは録音が自動的に一時停止、音を感知すると録音を再開する。 LEVEL　：OFF（音声自動認識の設定をしない） 音声認識のレベル〈01/02/03/04/05〉から指定 （数値が小さいほど小さな音にも反応） TIME(SEC)：無音が何秒続くと一時停止するかを 〈01/02/03/05/10〉から秒数で指定
ライン入力設定 **LINE-IN SETTING** □ HIGH ■ MIDDLE □ LOW	コンポや CD ラジカセなどの外部オーディオ機器から録音するときの音質を設定する。 HIGH：高音質（320Kbps） MIDDLE：標準（256Kbps） LOW：低音質（128Kbps）

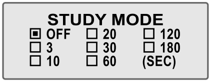
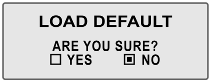
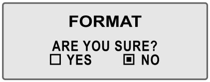
項　目	解　説
ライン入力ボリューム 	コンポやCDラジカセなどの外部オーディオ機器から録音するときのボリュームを設定する。 0～31までの範囲で設定
曲間自動分割 	無音状態を曲の区切りととらえて、曲単位にファイルを分割して録音する設定。 OFF：曲間自動分割の設定をしない TIME（SEC）：〈01 ～ 10〉から秒数で指定

項　目	解　説
タイマー設定	
電源オフタイマー 	プレーヤーが停止状態で一定時間を過ぎると自動的に電源が切れる設定。 1/2/3/5/10/20/30/60（分）
スリープタイマー 	一定時間を過ぎると自動的に電源が切れる設定。 OFF:スリープ設定をしない 5/10/20/30/60/120/180 MIN（分）
日付と時刻 	現在の日付と時刻を設定する。
アラーム /FM 録音 	アラームまたは FM タイマー録音を有効にする設定 OFF：アラーム /FM 録音の設定を解除する ALARM：アラームの設定を有効にする FM RECORDING：FM 録音の設定を有効にする 〈注意〉アラームと FM タイマー録音を同時に使用することはできません。

項　目	解　説
アラーム時刻設定  	アラームが鳴る時刻と繰り返しの設定をする。 DAILY/MON-SAT/MON-FRI/SUN/SAT
FM タイマー録音  	指定した時刻に FM ラジオの録音を開始する。 設定が有効である限り、毎日同時刻に FM ラジオの録音が開始される。

項　目	解　説
拡張設定	
レジューム 	電源オフ、再生を停止した後、ふたたび再生するときに、直前に再生していた曲から開始される。 ON：有効 OFF：無効 ※ T20 で録音した音声ファイル、FM チューナー録音ファイル、ダイレクト録音したファイルはレジューム機能は使用できません。
システム情報 	製品の情報を確認する。 FIRMWARE：ファームウェアのバージョン FREE SPACE：メモリ残量 TOTAL TRACKS：保存されたすべての音楽ファイル数
早送り / 巻戻し速度 	早送りや巻戻しの速度を設定する。 1X/2X/4X/6X（倍速）(1 が通常の再生スピード）
再生速度 	再生速度を設定する（語学学習に有効）。 -5（遅い）～ +5（速い）の範囲 （0 が通常の再生スピード）

5
設
定

項　目	解　説
学習機能 	再生中に⏮または ⏭ボタンで移動する時間を設定（語学学習に有効）。 OFF：無効 3/10/20/30/60/120/180 SEC（秒）
ファイル削除 	プレーヤーに保存されたファイルを削除する。 〈注意〉再生中は削除できません。再生を停止してから行ってください。削除する方法はファームウェアのバージョンによって異なります。ファイルを削除する→ **P.35,36**）
USB データ転送 （DOWNLOAD ACTIVITY） 	PC に接続した時の T20 の接続状態を変更できます。 ON：T20 はデータ転送モードとなり、PC からファイルの転送が可能です。 OFF：T20 は充電を行いながら音楽再生を含めた通常の操作が可能です。 T20 起動時には常に ON に設定されます。
初期設定に戻す 	設定メニューで設定した内容を出荷時の状態に戻す。 YES：実行 NO：中止
フォーマット 	プレーヤーのメモリに保存されているデータを完全に消去し初期化する。 〈注意〉フォーマットの前に必ずパソコンにバックアップをとってください。消去したデータを復旧することはできません。 YES：実行 NO：中止

ファームウェアのアップグレード

ファームウェア（プレーヤーの基本ソフトウェア）をアップグレードすることで、最新の機能や追加された機能を使用することができます。常に最新バージョンのファームウェアをお使いになることをおすすめします。
操作について詳しくは別冊「iriver plus 2 ソフトウェア取扱説明書」をお読みください。

1 プレーヤーをパソコンの USB 端子に接続します。

インターネットに接続しているパソコンをご使用ください。

2 iriver plus 2 を起動して、［オプション］－［ファームウェアのアップグレード］を選択します。



3 確認のメッセージ画面で「はい」をクリックすると、自動的にファームウェアのアップグレードが行われます。

〈注意〉

- アップグレードが完了するまでプレーヤーを取り外さないでください。
- アップグレードが完了するまでプレーヤーの電源を切らないでください。

プレーヤーのフォーマット

プレーヤーのメモリに保存されているデータを完全に消去し初期化します。ファームウェアに異常が発生した場合や、電源を入れたときにエラー画面が表示される場合にも、プレーヤーをフォーマットすることで問題が解決できることがあります。

1 プレーヤーをパソコンの USB 端子に接続します。

2 iriver plus 2 を起動して、［オプション］ー［ポータブルデバイスの初期化］を選択します。



3 確認のメッセージ画面で「はい」をクリックすると、フォーマットが行われます。

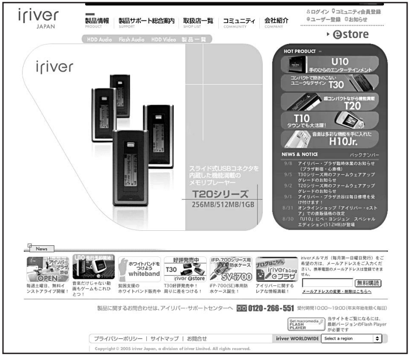
〈注意〉

- 消去したデータを復旧することはできません。
- フォーマットが完了するまでプレーヤーを取り外さないでください。
- フォーマットが完了するまでプレーヤーの電源を切らないでください。

6 資料

困ったときは

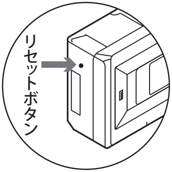
ここでは、サポートに寄せられるご質問の中から、よくある事例と対処方法を説明します。



http://www.iriver.co.jp

iriverのWebサイトの「製品サポート総合案内」には、製品別にFAQ（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

困ったこと	対処方法
電源がオンにならない	バッテリが不足していないか確認してください。（→ **P.17**）
	プレーヤーの HOLD スイッチがセットされている場合は解除してください。（→ **P.10**）
音が出ない、雑音がする	ボリュームが "0" に設定されていないか確認してください。
	イヤホンをしっかり接続してください。（→ **P.10**）また、イヤホン端子に異物が付着していないか確認してください。雑音の原因となります。
	MP3、WMA の場合、データに損傷があると雑音や音が途切れることがあります。他のファイルで確認してみてください。
画面の文字が乱れる	**M**を長押しして（モード切り替え画面）［SETTINGS］–［画面設定］–［言語設定］でお使いの言語に設定されているか確認してください。（→ **P.55**）
ラジオの受信状態が悪く、雑音がひどい	イヤホンが接続されているか確認してください。（→ **P.10**）
	周辺にある電気機器の電源を入れたときに雑音がする場合は、電気機器から離れたところで動作してみてください。
	イヤホンのコードはラジオ受信中のアンテナの役割をします。イヤホンがプレーヤーに接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
音楽ファイルの転送に失敗する	バッテリ残量を確認してください。（→ **P.17**）また、パソコンとしっかり接続されているか確認してください。

困ったこと	対処方法
パソコンにつないでも認識しない	USB データ転送（DOWNLOAD ACTIVITY）の設定をご確認ください。（→ **P.62**）PC に接続した時の T20 の接続状態を変更できます。
プレーヤーが反応しなくなった（フリーズしてしまった）。	USB 端子の横にあるリセットボタンを押してください。 

サポート

1. 製品保証書の記入事項

本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。
製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本書の「困ったときは（**P.65**）」、iriver の Web サイト (http://www.iriver.co.jp) の FAQ（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー・ジャパン サポートセンターまでご相談ください。

3. 付属品・オプション（別売）をお求めの場合

本取扱説明書に記載の付属品やオプション（別売）のご購入を希望される方は、アイリバー・ジャパン サポートセンターの通販窓口までお問い合わせください。

アイリバー・ジャパン サポートセンター ナビダイヤル 0570-002-220

E-mail でのお問い合わせはホームページのメールフォームをご利用ください。

受付時間：**10:00 ～ 19:00**（日曜・祝祭日、年末年始を除く）
〒 101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-2-8 天下堂ビル 2F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

仕様

メモリ	256 MB*	512 MB*	1 GB*
モデル No.	T20 256MB	T20 512MB	T20 1GB

* メモリの一部をシステム領域として使用しているため、搭載しているメモリすべてを記憶領域として利用できるわけではありません。

分類	項目	仕様		
オーディオ	周波数範囲	20 Hz ~20 KHz		
	ヘッドホン出力	（L）15 mW +（R）15 mW（16 Ω）最大ボリューム時		
	S/N 比	90 dB（MP3）		
FM ラジオ	周波数特性	± 3 dB		
	チャンネル数	ステレオ（左右）		
	FM 周波数範囲	76.0 MHz ~108 MHz		
	S/N 比	60 dB		
	アンテナ	ヘッドホン / イヤホンのコードアンテナ		
ファイルのサポート	ファイルタイプ	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG、ASF		
	ビットレート	MP3/WMA : 8 Kbps ~ 320 Kbps、OGG : Q1~Q10		
	タグ情報	ID3 VI、ID3 V2.2.0、ID3 V2.3.0、ID 3 V2.4.0		
音声録音	最大録音時間（32Kbps）	256 MB	512 MB	1 GB
		約 18 時間	約 36 時間	約 72 時間
画面	寸法	58（W）x 27（D）x 14.3（H）mm		
	重量	29.8 g（内蔵バッテリを含む）		
	画面	バックライトつき 3 行表示グラフィック LCD		
一般仕様と作業環境	言語	40 言語		
	バッテリ	リチウム ポリマー充電池		
	動作温度	-5 ℃ ~ 40 ℃		
	最大再生時間	約 15 時間（128 Kbps、MP3、ボリューム 20、EQ Normal、画面 オフ、フル充電)		

用語解説

ASF（エーエスエフ）	マイクロソフト社によって開発された、動画や音楽をネット配信するためのファイル形式。
CPU（シーピーユー）	データの処理を行うパソコンの中央処理装置のこと。インテル社の Pentium（ペンティアム）などが一般的で、CPU のタイプでパソコンの性能を表す。
EQ（イーキュー）（イコライザ）	低音／中音／高音の領域ごとに音の大きさを調節して、楽曲に合わせた音響バランスに調整するしくみ。
Gracenote（グレースノート）	米国グレースノート社。同社が提供する Gracenote CDDB（シーシーディービー）（CD データベース）には、アルバム名、曲のタイトルなど、オーディオ CD に関する情報が保存されており、インターネットで情報提供されている。iriver plus 2 では、音楽 CD をパソコンにセットすると、Gracenote CDDB に自動接続して情報を読み込む。
Kbps（キロビーピーエス）	通信回線などのデータ転送速度の単位。 1 Kbps は 1000 ビット毎秒
MB（メガバイト）	情報の単位。1MB は 1000KB（キロバイト）。
MP3（エムピースリー）	音声ファイル形式のひとつ。
MPEG（エムペグ）	映像や音楽のデータ圧縮方式。
OGG（オージージー）	Ogg Project で開発が進められている音声圧縮方式。
OS（オーエス）	パソコンの基本ソフト。
RAM（ラム）	パソコンの記憶装置。
SVGA（エスブイジーエー）	パソコンのディスプレイ画面で標準的に使われるモードの一つで、800 × 600 ピクセルの表示のこと。

USB（ユーエスビー）	キーボードやマウス、リムーバブルディスクなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ伝送路の規格のひとつ。
WMA（ダブリューエムエー）	マイクロソフト社によって開発された音声圧縮方式。
インストール	アプリケーションソフトをコンピュータに導入する作業。「セットアップ」ともいう。
タグ情報	MP3 ファイルに記録される、曲名・アーティスト名などのデータ。ID3（アイディースリー）タグともいう。
バックアップ	パソコンやシステムの故障に備えて大切なデータを外部の記録媒体に保存しておくこと。
ビットレート	圧縮された映像データや音声データが 1 秒あたりどのくらいの情報量で表現されているかを表す用語。
ファームウェア	ハードウェアの基本的な制御を行なうために機器に組み込まれたソフトウェア。
フォーマット	記憶装置に固有のデータ記録方式のこと。また、その方式で記憶媒体を初期化すること。
フォルダ	ファイルを分類・整理するための保管場所。フォルダの中にさらにフォルダを作成し、階層構造によって細かい分類ができる。

索引